

# 令和5年度事業報告

昨年度は、第38回全国大会を5月26日に自由民主党本部の8F大ホールにおいて、新型コロナウイルスは5月8日に感染症法の2類相当から季節性インフルエンザ並みの5類に移行されたが、完全に終息したことなく、移行後も感染者が増加していることから、感染予防としてマスクの着用と密を避けるため、540名定員の会場に参加者170名に限定して実施した。

来賓あいさつでは、自由民主党を代表して副総裁で衆議院議員の麻生太郎さんがあいさつされた。もう一方、党の「差別問題に関する特命委員会」の委員長で参議院議員の堀井巖さんを予定していたが、急遽、参議院の予算委員会が開催され欠席された。

今大会の記念講演は、(一社)LGBT理解増進会の代表理事である繁内幸治さんが、「LGBTを取り巻く現状と課題について」とのテーマで最近の状況をお話しされた。

議事では、令和5年度の運動方針など、すべての議案を滞りなく承認した。

11月には、関係各省庁に毎年実施している定期中央省庁要請行動(法務省、文部科学省、厚生労働省、国土交通省)を行い、同和問題の早期完全解決に向け令和6年度の人権関係予算の拡充を要請するとともに、「人権擁護法案」の早期成立への協力を要請した。

なお、法務省は日程が合わず中止した。

毎年開催している幹部研修会は、新型コロナウイルスが完全に終息していないことから、毎年実施している自由民主党の9F901会議室ではなく、万全な感染対策を行える全国大会を開催した8F大ホールに参加者を150名に限定して開催した。

来賓あいさつは、感染対策として自由民主党を代表しての幹事長代理・稲田朋美衆議院議員1名だけとし、「人権会議」の同志である(公社)全国人権教育研究協議会と全国隣保館連絡協議会についてはメッセージの朗読にした。

研修会はこれまでは複数の講師を招きシンポジウムを行っていたが、今回は「LGBT理解増進法」が成立したことで講演にして、テーマを「LGBT理解増進法」とは一差別禁止ではない理由一とし、「LGBT理解増進法」の成立に当初より関与し尽力されてきたLGBT理解増進会の代表理事である繁内幸治さんが、法律の内容等について説明をされた。

全国大会と幹部研修会は、いずれもインターネットのYouTubeで、開会から閉会までの全日程をLive中継するとともに、その中継の録画を自由同和会中央本部のホームページ上に載せ、Live中継を見逃した人でも視聴できるようにしたことをお知らせし、令和5年度の事業報告にする。